

牛女だより 六月号

そろそろ梅雨。ジメジメ・シトシト、洗濯物も臭いし、この時期大嫌いという人が多いですが、雨にも負けず外に出てみると、たくさん花木が天からの水を吸って、美しい花をつけています。植物は水をまわっているとき、とてもきれいで、見ていて気持ちよくなります。

「まんまるの木」の階段を登っていくと、白い花が水に映っている素敵なお写真があるのをご存知ですか？「マグノリア」の花です。オーブン当初に、「日本人より日本語の上手なイギリス紳士が、田舎（ご飯の常連さんです）」と紹介したことがあります、そのサイモンさんが帰国前にくださったもので、友人の女性カメラマンが撮ったものだそうです。

植物分類で『マグノリア属』に属する種類は、太古から地球上に生息していて、現存する一番古い花なのだそう。なるほど、子どもがお絵かきで一番初めに描きそうな、いかにも花らしい花ではありませんか。日本では、春先に咲く辛夷（こぶし）や白木蓮、タイサンボクなどが、このマグノリア属に入ります。地球が緑で覆われ、人間なんかいなかった時代からマグノリアはあったんだなと思うと、とても神秘的！今きくと、地球を食い尽くそうとしている情けない人間たちを横目で見ながら、なにげなく毎年花を咲かせているのでしょね。

太古といえば、7月はピアノ以前のピアノを携えて、あの「デュオ・リュタン」が二年前にまんまるにやってきました。心に吹き込んだ風がころころと音を出しているようなバロックの調べは、生まれる前の自分のところに連れて行ってくれるよう。おつまみプレートとドリンク付きで素敵な夏の夜を提供いたします。前回いらした方も初めての方も、ぜひいらしてくださいね。

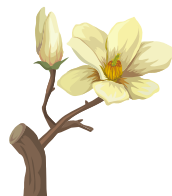
ところで、私の大好きな映画のひとつに「マグノリアの花たち」というがあります。小さな町の美容室に集る女性たちのただの日常。結婚、喧嘩、病、出産、仲直り、お祝い、弔い、という、何気ない出来事が、一緒に暮らす人々の間で喜怒哀楽の感情とともに、あたりまえに過ぎ去って

集まる女性たちの「ただ」の日常。結婚、喧嘩、病、出産、仲直り、お祝い、弔い、という何気ない出来事が、一緒に暮らす人々の間で喜怒哀楽の感情とともに、あたりまえに過ぎ去っていく。その様子を、この町に昔からある大きなマグノリア（ここではアメリカタイサンボク）の花たちのようだと自然に受け止めているとても素敵なお話です。原作は命をかけて出産に挑んだ妹さんのこととお姉さんが書いたものですが、悲しいお話ではなく、ほんとうにマグノリアの花のように明るく素敵に描かれています。

近頃、いろいろ考えすぎていて、なにげない日常の素敵を見失っているかもしれません。マグノリアの花のように自然に咲いて、ちよつとは美しく誰かの気をひいて、そっと散っていくといいなと、憧れますが、やはり牛だけに花より団子！

みなさんのお腹に幸せを届けるべく、毎日、何気ない田舎（ご飯を何気なくつくりましょかね。

←次号でチラシ入ります。お楽しみに



出演:デュオ・リュタン
木村夫美
(ヴァーゼナル)
朝倉未来良
(フラウトトラヴェルソ)



会場:まんまるの木
7月14日(土)
午後 6時30分開演(開場6時)

6月の催し物詳細は裏面にあります。

8:45~17:00(L.O.) (営業時間外=予約制)		営業時間外スペース貸し出し可 予約状況はお問い合わせ下さい	
カフェ営業		6月の催しもの	ギャラリー
1	金		
2	土		
3	日	お休み	
4	月	お休み	
5	火	19:00迄	YURI TAKEMURA展 「福音」
6	水		
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		
11	月	お休み	
12	火	19:00迄	仏語
13	水		
14	木		楽譜の読方
15	金		
16	土		占いカフェ
17	日	10:00~	生きるパワーアップ交流会
18	月	お休み	
19	火	19:00迄	仏語
20	水		
21	木		
22	金		
23	土		
24	日	10:00~	つきいち・コンサート
25	月	お休み	
26	火		ヒーリングカフェ
27	水		
28	木		楽譜の読方
29	金		
30	土		
31	日	お休み	

かふえ&すぱーす まんまるの木

TEL03-5787-8793・Fax03-5787-8794

〒154-0001 世田谷区池尻 2-37-15